

「学校教育目標」に向けて

学校教育目標

笑顔いっぱい 夢いっぱい 共に伸びる学校

～人とつながり 互いの良さを認め合う 湊っ子～

豊かな人間性

- 豊かな人間関係づくり(交流活動の工夫)
- 多様性を認め合い、自分のよさを大切にする
- 自治的な能力や社会性を育む活動の充実
- 体験活動を通した創造性の涵養 ○読書活動の充実

健康・体力

- 健康で安全な生活を送るための実践力
- 運動を通して体力の向上(外遊びの奨励)
- 清掃活動を通して心身の調和的な発達

資質・能力の育成

①何ができるようになるか ○学校教育の基本

- 学ぶ楽しさを味わい、豊かに表現できる
- 変化に向き合い、主体的に判断し、他者と協働しながら、課題解決することができる

⑤何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 学んだ学習内容を関連づけ、活用する
- 多様な見方・考え方を受け入れながら、課題や問題を解決する方法を見い出す
- 学びを振り返り、自分の考えを再構成する

子供の実態

- 素直でやさしい
- 興味関心のある学習や活動に対して意欲が高い
- 説明など表現する力が弱い

④子供の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導

- 児童理解と情報の共有(チームによる支援)
- OUDの視点に立った学級経営
- コーディネーターを中心とした支援体制の充実
- 児童の特性に応じた学びの推進

目指す子供の姿

- 話をよく聞き、よく考え、よく学ぶ子
- 礼儀正しく、心のやさしい子
- 夢や目標をもち、努力する子
- 体を鍛え、明るく元気な子

②何を学ぶか ○教育課程の編成

- 言語能力の育成を図る
- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を学びの過程の中で働きさせる
- SDGsの視点に立った教育課程

③どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 一人一台端末の効果的な活用による個別最適な学びと、探究的な学習を通じた協働的な学び合いの充実
- 目的意識をもち、対話や議論を重ねながら課題を解決する
- 見通しと振り返りを意識した学習

⑥実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 教職員の資質能力向上のための校内研修の充実
- 教職員の参画によるカリキュラムマネジメントと働き方改革の推進
- 地域人材・教育資源の積極的な活用と児童の力を地域に還元する循環型の学びの充実
- OPTA・子ども会等と連携した教育の実践

安心・安全を守る

- 安全、安心な学校生活を送るための環境・体制づくり
- いじめ・不登校の未然防止、人権教育の充実
(心の居場所と絆づくり)
- 防災、防犯、情報モラル意識の高揚

地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会を核とした取組
- 学校ホームページ、各種たより等による情報の発信
- 地域との連携、各種行事への参加
(郷土芸能に関する活動の奨励)